

1年次 国際関係学と英語の基礎を築く
全員が海外フィールド・リサーチに参加

2年次 興味や将来の進路に応じて
コースを選択し、それぞれの
領域の国際的な課題と向き合う

3年次 研究演習で
学びの集大成となる
研究をスタートする

4年次 4年間の集大成として
卒業研究をまとめる

入門科目

さまざまな視点から世界を学ぶ

■ 国際関係入門

国際関係学における政治・経済・共生各領域の基礎的知識を学びます。



基礎的な学びを踏まえ、国際関係学の幅広い領域から学ぶ方向性を定めます。

展開科目

国際関係分野の専門知識と理論を学ぶ

3コースから選択

国際関係・政治コース [詳しくは▶P13](#)

国際関係・経済コース [詳しくは▶P13](#)

国際関係・共生コース [詳しくは▶P13](#)

+

地域研究科目

北米論、東南アジア論、アフリカ論ほか

国際政治における国家間のダイナミクスを考えながら、国家間の課題を発見して良好なつながりを展望します。



グローバル経済と国内産業構造のダイナミックな変化をトータルに捉え、日本経済の将来の発展を考察します。



環境・貧困・難民など、国際社会の複雑な課題をさまざまな視点で分析し、共生の観点から新たな解決策を探ります。



他コースの科目も履修しながら横断的に学びを展開

英語で行う講義科目も選択履修

基幹科目

1・2年次では国際関係の専門的な学びに必要となる英語力を養うことに加え、理論的な枠組みや概念について英語で学び、国際関係に関する理解を深めます。

- English for Academic Purposes I~IV
- Theory of Knowledge I~IV
- English for Professional Purposes I~IV

国際関係学の概念を発展的に学修すると同時に、国際関係の専門的な内容を英語で学びます。トータルで「グローバル人材」にふさわしい英語力を獲得します。

- Issues in International Relations I・II

演習科目

少人数クラスで学生一人ひとりが関心を持つテーマを分析・考察する力を身につける。

■ 基礎演習

文献・資料の検索からプレゼンテーションの作成まで、学びを進めるための基礎となる学習スキルを修得します。



■ 発展演習

国際関係学の全般的な基礎知識、思考方法および表現の手法を学びます。

■ 研究演習

1・2年次で培ったアカデミック・スキルと国際関係の全般的知識に基づいて、それぞれの演習で扱うテーマについて理解を深め、より専門的な研究へとつなげていきます。4年次には学部での学びの集大成として卒業研究をまとめます。

■ インディペンデント・リサーチ

「展開科目」や「演習科目」で培った知識・理論を踏まえた上で、個人的な体験を通じて関心を持ったテーマについて、担当教員の指導のもと、さらに主体的に深く研究します。

実践科目

世界に挑む意欲を育成
海外フィールド・リサーチ

英語圏・アジア圏に約3週間滞在し、その国の政治・経済・社会・文化・歴史を学びます。また、英語の授業と並行して、各国のリサーチテーマに沿った実習プログラムに参加します。その成果を帰国後にまとめ、発表します。

- アメリカ
- ニュージーランド
- ベトナム
- カナダ
- タイ
- オーストラリア
- マレーシア

[詳しくは▶P07](#)

「グローバル人材」の資質を
実践的に磨く

国際キャリア開発リサーチ [詳しくは▶P08](#)

海外の現場で、研究や課題解決の実施に取り組みます。

半年から1年の本格的な
「長期留学」

交換留学・派遣留学・認定留学 [詳しくは▶P09](#)

